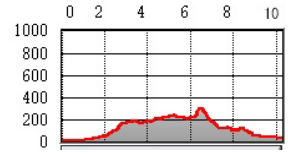
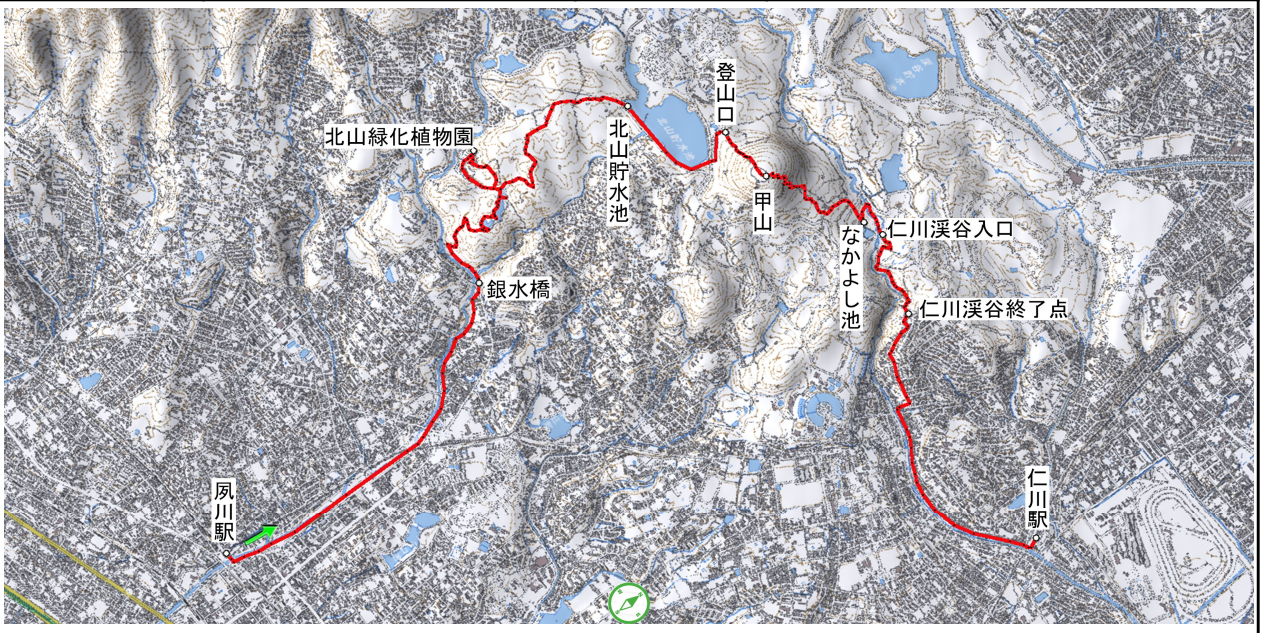
ゆっくり登山19:甲山～仁川渓谷

コース	夙川駅 →2.3km/37′ →銀水橋→1.5km/42′ →北山緑化植物園→1.6km/37′ →北山貯水池→0.8km/14′ →登山口→0.4km/16′ →甲山→0.9km/23′ →なかよし池→0.3km/6′ →仁川渓谷入口→0.6km/17′ →仁川渓谷終了点→1.9km/27′ →仁川駅
水平距離	10.3km
累計高低差	登り419m、下り402m
標準歩行時間	3：39
実績歩行時間	4：06

断面図
縦軸：高度m
横軸：距離km





山行報告

山行日　2020・12・6（日）　　天候　晴れ　　参加者　4名

行　動　夙川駅9：34→銀水橋10：15～10：23→甲山森林公園（昼食）11：18～12：04→北山貯水池12：45→登山口12：58→甲山13：14～13：26→なかよし池13：54～14：01→仁川渓谷入口14：11→仁川渓谷終了点14：52→仁川駅15：23

記　録

六甲山縦走路から眼下にお椀を伏せたような山容の甲山が見える。市街地に近い標高309.2mの里山で地元の人に憩いの山として親しまれているようである。筆者は夙川駅～甲山～仁川駅を結ぶコースを数回歩いているが大師道や甲山森林公園を通る道で北山緑化植物園を経て北山貯水池を通る道ははじめてで新鮮だった。甲山から仁川への下山も車道を避けて仁川渓谷沿いの道を歩いたので変化とスリルがあった。これも六甲山域に精通したリーダーのお蔭。

夙川駅から夙川左岸を2.3km登ると銀水橋に着き小休止、ここから西へ250m進んだところに北山池への登り口がある、急な坂道を70m登ったところに北山池があった。池は3段になっていて何れの池も静かで紅葉を鏡のように映していて素晴らしいところだった。

一番奥の池から道標に従い西へ300m程のところに西宮市北山緑化植物園があり立ち寄った。この植物園にある温室は参加者が30年前に設計されたもので説明を聞きながら見学させてもらった。芝生広場で昼食後北山池へ戻り、しっかりしたハイキング道を北上して北山貯水池に着いた。池の向こう側にこんもりした形の良い甲山が見られた。20分ほどで二等三角点のある甲山の山頂に着いた。ここでピークショット。

仁川への下山道の最初は段差のきつい階段道、後半は花崗岩が ザレていて滑りやすく、雨水に浸食され抉れているので歩き難かった。 甲山湿原観察園を通り抜け、なかよし池に降りた。

小休止の後、渡渉して対岸の広河原へ渡り仁川渓谷の入口を探した。葦が茂っていて入口は分かり難かったが踏み後はしっかりしていた。所々の岩に青いペイントやテープがあり迷う事はない。踏み跡は山肌のかなり高い所についていて、水音はするがなかなか渓谷が見られない。一度川原に出て元の踏み跡に戻るのに一苦労した。その後は忠実に踏み跡を辿り展望所を経て住宅街に出た。勾配のきつい舗装路を40分歩いて仁川駅に着いた。